

## 会 議 録

会議の名称	令和3年度 第1回図書館運営協議会
開催日時	令和3年11月16日(火)午後2時~午後3時53分
開催場所	戸田市立中央図書館2階 視聴覚室
委員長等氏名	会長 青塚 和子
出席者氏名 (委員)	会長 青塚 和子 副会長 石川 敬史 委員 川和田 亨 委員 田口 香代子 委員 川端 富士夫 委員 小林 真喜子 委員 大久保 絹子
欠席者氏名(委員)	無
説明のため出席した者	無
傍聴者	無
事務局	生涯学習課図書館担当 課課長 高屋 勝利 主幹 本橋 洋 副主幹 宮嶋 朗子 主任 水沼 博之
指定管理者	中央図書館長 原田 盛夫 中央図書館館長補佐 山崎 綾子 上戸田分館長 丸山 怜依

議 題	<p>(1) 令和3年度図書館上半期事業報告</p> <p>(2) 第3次戸田市子どもの読書活動推進計画について</p> <p>(3) 図書館ビジョンについて(案)</p> <p>(4) 市外在住者のリクエスト見直しについて(案)</p>
会議結果	生涯学習課図書館担当・戸田市立中央図書館及び上戸田分館指定管理者から議題の内容について報告があり、報告事項に対して図書館運営協議会委員から意見を聴取した。
会議の経過	別添のとおり
会議資料	<p>(1) 令和3年度第1回戸田市立図書館運営協議会次第</p> <p>(2) 戸田市立図書館運営協議会委員名簿</p> <p>(3) 戸田市立図書館運営協議会事務局名簿・指定管理者出席者名簿</p> <p>(4) 令和3年度図書館上半期事業報告</p> <p>(5) 第3次戸田市子どもの読書活動推進計画「子どもの読書活動推進のための方策」における各関係課の該当状況</p> <p>(6) 第2次戸田市図書館ビジョン(案)に関する資料</p> <p>(7) 市外在住者のリクエストの見直し(案)に関する資料</p>
議事録確定	<p>令和3年11月24日</p> <p>会長氏名 青 塚 和 子 _____</p>

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	<p>開会</p> <p>定刻となったので、令和3年度第1回図書館運営協議会を開催する。この協議会は、戸田市立図書館の円滑な運営を図るため、戸田市立図書館条例により設置するものである。</p> <p>今回、社会教育関係者として、戸田市社会教育委員会議から新委員の選出をいただいた。任期は、令和3年4月1日より令和4年3月31日である。</p>
教育部長	委嘱状交付
事務局	なお、本日の会議は成立要件となる過半数の出席を満たしている。
教育部長	教育長挨拶（代読）
各委員	委員自己紹介
事務局	事務局自己紹介
指定管理者	指定管理者自己紹介
事務局	<p>次第5の議事に入る。</p> <p>議事の進行については、戸田市立図書館条例施行規則第24条第1項の規定により、会長が務めることとなっているので、青塚会長にお願いする。</p>

<p>会長</p>	<p>それでは、これから議事に入るが、本日は傍聴人がいないことを報告する。</p> <p>議事（１）令和３年度上半期事業報告について 指定管理者より説明をお願いします。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>議事（１）令和３年度図書館上半期事業報告について、資料（４）に基づき説明。</p> <p>昨年度開始した新たな事業として、２点紹介。</p> <p>託児サービス</p> <p>電子図書館</p> <p>今年度の事業について、６点説明</p> <p>出前講座をコロナ禍のためオンラインで開催</p> <p>託児サービス</p> <p>彩湖自然学習センターとの連携講座</p> <p>電子図書館サービス</p> <p>デジタルアーカイブシステム(アデアック)</p> <p>軽食販売</p> <p>資料にないそのほかの活動として</p> <p>YA コーナーの設置</p> <p>来年度実施の事業として調べる学習コンクールへの参加を予定</p>
<p>上戸田分館長</p>	<p>議事（１）令和３年度図書館上半期事業報告について資料（４）に基づき上戸田分館についての説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会は定例のものは、制限がない限り、定員を減らし、コロナ禍も行った。</li> <li>・レファレンス講座は、昨年度より定員を増やし実施。</li> <li>・子供向け仕事体験講座として、ちびっこ１日図書館員を開催。</li> <li>・大人向けに歴史町歩き講座を開催。妙顕寺の宝物庫を見学した。</li> </ul>

中央図書館長	<p>4 研修等受入れの状況</p> <p>    笹目中 12/7-9 学校側からの申し出で中止。</p> <p>6 利用統計について、前回の協議会の場で、前年比を入れてもらいたいとのご要望があったので、今回は前年度の値と比較できるように資料を作成した。</p>
上戸田分館長 副会長	<p>6 利用統計について説明</p> <p>おはなし会をコロナ禍に持続的に実施してきたという点については、ボランティアの協力があったということが大きいと思う。ボランティアとの持続的な協力関係やお話会の参加者とのつながりで気を付けていること、参加者の皆さんからの声などがあれば聞きたい。</p>
中央図書館長 上戸田分館長	<p>コロナ禍におはなし会を実施することへの疑問や意見等もたくさんいただいたが、定員の半減、感染対策を徹底して継続開催した。</p> <p>大型絵本を使って、距離をおいて座れるようにしたり、参加者には座る位置を決めて、指定した場所に密を避けて座ってもらったりして、安心して参加できる環境を作った。</p>
委員	<p>ボランティアから、他の施設が中止になっている中、開催してもらい、他の方と接して活動できる機会をいただけることはありがたいという声をいただいている。</p> <p>メンバーの中には不安の声もあり、参加することに悩んでいる方もいたが、図書館にはそういったボランティア側の声も聴いていただき、参加を躊躇っている人には無理強いせず、図書館の人が代わりに参加するなどの対応をしてくれた。無理にお願いすることはないので、安心して参加してくださいと声をかけてくれたので、それで安心して参加できた。正直、子供たちから大人への感染も増えているという時期は、メンバー全員、開催することには不安だったが、無理をせずに参加していきましょうということで何とかやってきた。</p>

会長	<p>配布された資料に開催時の写真も載っているが、かなり距離をとって座っている。場所が決められていて、子どもたちは自分の場所に座っている。</p>
委員	<p>小さな子供なので、動かないでと言っても難しいところもある中、子どもたちもこういう時期だからというのを踏まえて参加してくれた。先ほど、上戸田からも話があったが、ボランティアを休まずに続けられることが、こんなにうれしいことだということを改めて感じた。</p>
会長	<p>川岸 3 丁目の公園の中にあるウーフ文庫をやっている。週一回、このコロナ禍も一度も休まずやり続けたら、例年の来館者数よりも多くなった。それだけ子供も行くところが少なくなったのだと思う。図書館でも、同じようにやってきたことは、子供たちにとってもいい刺激があったと思う。</p>
会長	<p>質問がなければ、議事（ 1 ）については、以上とする。</p> <p>次に、議事（ 2 ）第 3 次戸田市子どもの読書活動推進計画について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議事（ 2 ）第 3 次戸田市子どもの読書活動推進計画について、資料（ 5 ）に基づき説明。</p>
副会長	<p>気づいた点 3 点ほど質問する。</p> <p>1 点目は推進計画の中で進捗状況が記載されているが、中高生向けの取り組みが少ないように感じる。おそらく図書館でも中高生の利用をどのように伸ばすかは大きな課題になっていると思う。これから、中高生向けのサービスをどのように考えていくか。</p> <p>2 点目は学校図書館の整備充実というのをどのように考えていくかが子供の読書活動を考える上では非常に重要である。子供たちの視点にとっては日常生活の場は学校になる。そういった中で、学校司書を全校に配置していくとか、さらには戸田市では ITC 教育</p>

<p>上戸田分館長</p>	<p>とかタブレットの配布が進んでいるが、そういった情報リテラシーの教育や先生方の教育支援ということを含めながら学校司書を配置していくというのが大きな課題だと思う。本好きサポーターの配置と書かれているが、学校図書館の支援が、子供の読書活動推進の上では大きな役割を果たすのではないかな。</p> <p>3点目は、他の自治体では読書バリアフリー法というので、さまざまな取り組みがされているが、特別な支援が必要な子供たちに対しての読書支援も、この進捗状況の中にもあまり記載がなかったように思う。外国籍の子供であったり、視覚とか聴覚に障害がある子供たちとか、更にはディスレクシアとか、さまざまな障害を抱えている方への取り組みが今後、どのように行われていくのがポイントではないかな。</p> <p>今後、上戸田分館としても、積極的に取り組んでいく。</p> <p>現状では、今年度の取り組みの中で、中学校の図書室に配属されている本好きサポーターの方との関係ができて、戸田中学校に上戸田分館で所蔵しているライトノベルの紹介冊子を置かせていただいたり、戸田中学校で配布している図書館だよりの中で、上戸田分館の紹介記事を載せていただいたりするなど、繋がりができつつある。今後はそういったところの連携も強化していきたい。</p>
<p>中央図書館長</p>	<p>中高生へのサービスについては、中央図書館ではYAコーナーを設置したばかりで、まだ十分ではないが、今後は拡充を検討していきたい。</p> <p>また、調べる学習コンクールの地域コンクールを来年度、実施する予定でいる。図書館としては、学校と連携して特に小学生、中学生をターゲットにしたいと考えている。これを利用して、調べる学習の普及に努めていきたい。このコンクールにより、課題解決する力がつき、学力が上がったという結果の出た自治体もある。自分で</p>

委員

課題を見つけ、それを図書館で調べる。あるいは、親御さんの協力を経て外に出かけるなどして課題を解決する。調べたものをまとめる力、発表する力も養える非常に良い活動だと思う。このところを来年度は注力していきたいと考えている。

学校教育の話題になったので、少し述べさせていただく。

戸田市の場合は、市立の高校はないので、中学校という視点でお話する。中学生は部活動が大変盛んで、本を借りることが難しい部分があるのが課題となっている。

さまざまな施策を述べていただいたが、調べ学習については、これまでもずっと取り組んでいる。

今、戸田市で注力して取り組んでいることは、正解のない学びを学校の中に取り入れていこうということで、PBL というプロジェクト型の学習を進めている。今までは大人が考える重大な課題を子供に与えても、子供はそのことに意味を感じないことが多かった。それに対し、子供自身が課題と感ずるものを考えてもらうという学習方法である。

同じように、中学生の読書活動推進についても、大人が考えて子供にいろいろ与えるよりも、中学生に図書館の活用を考えてもらう方が良いのでは。どうしたら、もっと図書館を活用できるか。それをプロジェクト型の学習として、考えてもらう方が子供たち自身の取り組みになっていくと感じた。

最近でいうと、よくポップ作りを本屋さんでやったりとか、図書館でやってもらったりしているかと思うが、大人の課題にするよりは、子供の課題にしていった方がいいと感じている。

戸田市は教育長が早くからデジタル化について GIGA スクール構想を実施していて、一人一台のパソコンを県内、全国的にもいち早く導入している中で、デジタルシティズンシップを、「あれはダメ、

委員	<p>これはダメ」と大人がいうよりも、子供たち自身に決まり等考えさせながら運用させていくことを取り組んでいる。</p> <p>図書館の活用については、子供たち自身の課題とする機会を設けた方が良いと思うので、私自身もこの場で、こういう話があったことを校長会で投げかけていきたい。また、今後も、学校側へ様々な課題を与えてもらえればと思う。</p> <p>おはなしボランティアの養成講座の実施について、「ボランティアの高齢化を鑑み」という一文があるが、これはいらぬのではないかと。</p> <p>現状として、このボランティア活動をする方は、子育てが終わって自由になっている方が多い。当事者から見て、「高齢化」という言い方はどうなのかなと感じた。</p> <p>どなたでも受けていただける講座にしてほしいので「高齢化」という言葉は省いてほしい。</p>
事務局	失礼した。どなたでも受けていただける講座にしていく。
委員	そうしてほしい。高齢化と言ってしまうと、来ていただける方がいなくなってしまうかもしれない。
委員	<p>私の時代は専業主婦の方が多かったので、自分たちの活躍の場として、おはなしボランティアをされる方も多かったと思うが、最近では、共働きの方が多いので、若い方は参加できない。PTAの活動もそうだが、今は逆に高齢の方頼みとなっている。年齢は関係ない。ただ、子供たちの親世代に参加してもらえないのは課題でもある。</p> <p>学校の図書室と市の図書館の間で本の行き来、交流のようなことはされているのか。絵本などは学校よりも市立図書館の方がたくさん持っている。小学生でも絵本を読むので、そういう交流があるといい。校長先生、今の図書室の活用状況はどうか。</p>
委員	戸田市の学校図書室でも、読書手帳的な取り組みはしている。低

委員	<p>学年から高学年になるにつれ、読む数は減っていくという傾向にあるが、四年生くらいまでは、たくさん本を借りようという取り組みにはなっている。</p> <p>ただ、昨年度は、図書館同様、コロナウィルスの関係もあって、本の貸し借りや図書室で読むことの制限をしたりしていた。ようやく今年になって活気が戻ったという状況である。</p> <p>図書館とは、団体貸出を利用している。国語でこういう単元をするのでとお願いすると、適当に見繕って貸していただける。これもコロナウィルスの影響で、最近は利用できていない。学年単位でも団体貸出は利用させてもらっている。</p> <p>資料の中で、県内市町村との比較を見ると、戸田市は悪い数字ではないと思う。私が生まれ育ったところの図書館と比べると、戸田市の図書館は、緑が豊かで、広い広場がある。これだけ良い環境の図書館だから、もっと子供たちが集まってくれてもいいのに、という不思議さはある。</p> <p>本の面白さがわかると、子供は夢中になれると思うけど、その面白さを子供にどう伝えるかというのは、先生がおっしゃったように、大人が押し付けてもダメなので、子供が自分で面白さに気づいてもらわないといけない。きっかけが漫画でもいいと思う。子供がいかにか本に興味を持つかというのが課題だと思う。</p>
会長	<p>本好きにするためには、小さい頃の本とのふれあいが大事で、その時期に、どういうふうに与えたか、中学生、高校生になって、その結果が表れてくる。図書館もずっとブックスタートを行っていて、ファーストブックを渡している。その成果が徐々に表れてくるといい。</p> <p>以前は、学校で朝8時30分から5分間の読み聞かせの時間があったがコロナ禍の影響でなくなってしまった。東小も今は1年生だ</p>

委員	<p>けである。ボランティアさんが学校と交渉するが、勉強する時間を確保するために中止となっている。工夫して、ビデオで撮影して、低学年の休み時間に見てもらっている。学校でボランティアをしているお母さんたちも、子供たちにどうにかして本に触れてもらおうと、そうやって活動を継続している。</p> <p>私がボランティアで行っている学校は、9月からリモートで読み聞かせをしている。小学生の朝読書は、戸田市は進んでいるが中学生で途切れてしまっている。その先が中学生の読書につながっているのかがわからない。</p>
会長	<p>読書のバリアフリーは大事。私の周りにも目の不自由な方が多いが、そういう方たちは、私たちが当たり前に見えているものが見えないので情報を得ることができない。</p> <p>朗読の会が広報などを録音して視覚障害者に提供しているが、市内の視覚障害者すべてに届いていない。水害や災害の話になったとき、朗読の会の方たちは、ハザードブックを録音したものを作成していると言っていたが、実際、必要としている人たちの手には渡っていない。こちらが気に留めてあげなければ、存在自体、あることがわからないのが視覚障害者。そういった人たちの手に届いていないために、ハザードブックはないと思っていたという。</p> <p>求めている人はいるが、障害者の方は遠慮深いところがあるので、自分から「ほしい」と言って来ない。提供する側が積極的に、しつこいほど発信していかないと気づいて貰えないことを知っていてほしい。そういう方たちにも豊かな人生を送ってほしいので、いろいろな情報を届けてあげてほしい。</p>
委員	<p>あすなる学園の読み聞かせについて、勤務の関係でかわりがあったので、今後も継続してやっていただきたい。</p> <p>上戸田分館の読書感想文のおすすめの本のリストの配布とある</p>

上戸田分館長	<p>が、どんな感じでやっているか教えてほしい。</p> <p>上戸田分館で令和2年度に配布したリストは、低学年、中学年、高学年ごとに、過去3年分の課題図書等を紹介し、裏面に、感想文を書くコツを各学年にあわせて紹介している。同時に館内で所蔵している本も並べて、保護者の方に伝えた。</p> <p>この取り組みは夏休みに実施したもので、通年では、学年ごとの課題図書を紹介したリストを館内においている。夏休みに限らず、保護者の方から「おすすめの本ないか」という問い合わせも多いので、そのリストを活用している。</p> <p>小学3年生の子をもつ母から、今まで本を読んだことのない子に読ませたいという相談を受け、そのリストから選んで帰った。その後、その本が面白かったらしく、今は、そのリストを上から順番に読んでいると言われた。</p> <p>また、課題図書のリストだけでは、すべての子供たちが面白いと感じる本とは限らないので、問い合わせがあったときは、その子の好みに合わせて個別に本を紹介している。</p>
委員	<p>司書さんが子供たちに本を選ぶだけでなく、もっと発展的に何かできることはないかなと思った。</p> <p>例えば、その本を読んで、何を感じたかのコメントもあわせて紹介すれば、同年代の子が見て、「これを読んでみようかな」というふうにならないか。実際に読んだ子供の感想を次に読む人へ発信できたら、読書への興味を持つきっかけになるのかなと思う。</p>
上戸田分館長	<p>あいパルのお祭りで、おすすめの本を教えてもらうイベントを開催した。そのときに書いてもらった紙はとってある。それを活用して、本を展示したり、利用者の交流の場ができるよう企画して取り組んでいく。</p>
会長	<p>質問がなければ、議事(2)については、以上とする。</p>

	<p>次に、議事（３）図書館ビジョン（案）について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議事（３）図書館ビジョン（案）について、資料（６）に基づき説明。</p>
副会長	<p>第一次と第二次との違い。例えば重点的な施策とか、注力してやっていきたいところを紹介してほしい。</p>
事務局	<p>戸田市の生涯学習計画の中で、リカレント教育、大人になってからも常に学びなおしをしていくということが重要視されている。図書館のビジョンもその点を重要視した。</p> <p>また、すべての方に読書の環境を提供するという読書バリアフリー法精神も盛り込んでいる。</p> <p>市民とともに活動する図書館ということで、市民との協働で図書館を運用していくという点も重要視している。</p> <p>情報通信技術の発達のところでは、現在、オンラインでの講座などが非常に活発になっているが、図書館に足を運ぶのが難しい方に、非来館型のサービス提供を考えている。</p>
副会長	<p>一つ気になったところが、図書館で勤務している人、教育委員会の人以外の図書館ボランティアや利用者の意見を聞くというプロセスを踏むなどしているのか。</p> <p>利用者に、どんな図書館が理想かというのを聞いて策定すると、参加した利用者も「自分たちの図書館だ」という意識が芽生えるもの。そういう策定のプロセスを教えてもらいたい。</p>
事務局	<p>指定管理者で実施したアンケートにあった意見、要望等を整理して反映した。</p> <p>この協議会の委員の皆様からの意見も盛り込んでいきたい。</p>
副会長	<p>私の方で考えたのは、１つは利用者参画型で、社会教育の領域ではよくあることだが、自主講座、自主編成ということで、利用者や</p>

<p>委員</p>	<p>ボランティアに講座を企画してもらうことにチャレンジしてもよいかと思う。</p> <p>2つめは、数的なアンケートだけでなく、母数は少ないが利用者やボランティアに30分～1時間程度インタビュー形式で聞きながら進めた方が、ビジョンがより良くなると思う。</p> <p>ICTの活用と書かれているが、電子図書館がビジョンの目立ったところに書いていない。電子図書館の状況や課題が知りたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>指定管理者で図書館システムとは別に電子図書館サービスを契約している。</p> <p>蔵書数9000冊程度。利用できる人は市内在住、在勤、在学。</p> <p>図書館のホームページにアクセスして利用することができる。</p> <p>児童向けの本が少ないので、学校へは大々的な利用のお知らせをできていない。40代から60代の方が多い。自己啓発、料理、家庭の本、文学の利用が多い。</p>
<p>中央図書館長 委員</p>	<p>課題は始まったばかりで蔵書数が少ないところ。</p> <p>あまり宣伝されていないように思う。中学生にも一人一台端末が配られているので、忙しくて図書館に来られなくても電子図書館だと利用してくれると思う。著作権などで費用はかかるかと思うが、今後広がりがあれば学校でも大々的に紹介していく。</p>
<p>委員 中央図書館長 委員</p>	<p>蔵書数が少ないと感じていた。増やしていく計画はあるのか。</p> <p>現状では予算の限りがあるので、難しい。</p> <p>すべての市民にという方針1のところ、外国の方へのサービス利用状況は。</p>
<p>上戸田分館長</p>	<p>窓口対応時、日本語の不自由な方が来られることはほとんどない。コミュニケーションする上で少し通じづらさを感じることはある。</p> <p>上戸田分館は外国語の本は絵本しか置いていないので、大人で外国籍の方の場合、日本語が上手な方が利用される印象である。館によ</p>

委員	<p>って様子が違うと思う。</p> <p>戸田市にも多くの外国人がいるので、その方たちの読書の機会、単に日本語の勉強というだけでなく、母国語でも鑑賞できるよう外国語サービスの拡充を考えてほしい。</p>
会長	<p>特に質問なければ、議事（３）については、以上とする。</p> <p>次に、議事（４）市外在住者のリクエスト見直しについて、事務局より説明をお願いする。</p>
事務局	<p>議事（４）市外在住者のリクエスト見直し（案）について、資料（７）に基づき説明。</p>
委員	<p>反対意見ではなく感想だが、広域利用が始まった頃、隣接市はどこでも対等に借りられるようにしようと始まった。時代の趨勢で仕方ない。</p> <p>それから、借りている数が多いのは戸田市の在庫が少ないからと見えてしまう。新聞で見た面白そうな本をリクエストしても、戸田の図書館にはないことが続いた。今、人気がある本が意外に無かったりする。流行りの本を全部というわけにはいかないとは思いますが、もう少し入れてもらえるといい。</p>
委員	<p>戸田市の人以外の方が戸田市の図書館を利用しているのは、利便性からか。それとも、あちらの図書館よりこちらの方が充実しているので来やすいということか。</p>
事務局	<p>どちらもある。</p>
委員	<p>これは県立図書館の本を借りる時も同じか。</p>
事務局	<p>県立図書館の本を市外在住者が借りる場合も同じである。</p>
委員	<p>リクエストの種類としては、新刊本が多いのか、専門書等が多いのか。</p>
事務局	<p>利用者のニーズによって様々である。</p>
委員	<p>戸田市にないときは、いろいろな図書館を利用している。</p>

	<p>他から取り寄せてまで借りようとは思わないので、自分的には議事内容は納得している。</p>
委員	<p>戸田市は、さいたま市や川口市に比べたら規模が小さいので、借り受け数が多いのは仕方ないことだと思う。</p>
委員	<p>都内やさいたま市の図書館にない、自分が探していた本が戸田市にあった。戸田も立派だなと感じた。</p>
委員	<p>リクエストの多い本、リクエストは購入に活かされているのか。そういう決定はどういうふうに行っているのか。</p>
事務局	<p>新刊は、一週間に1回、指定管理者が選書し、市の司書が二次選書をしている。リクエストについては、予約状況などを見て購入検討している。予約が多い時は新たに同じ本を購入して、出来るだけ早く提供できるようにしている。</p>
会長	<p>リクエストがなかなか回ってこないときは、自分で購入される方もいると思う。読みたいときに読めるという贅沢、読みたいチャンス逃すと本が嫌いになっていってしまう。自分を豊かにするために図書館があってほしいと思う。</p>
会長	<p>質問がなければ、議事(4)については、以上とする。</p> <p>それでは、本日の全ての議事が終了したので、進行を事務局にお返しする。</p>
事務局	<p>本日は様々なお立場からの貴重なご意見に感謝する。</p> <p>第2回の協議会は年明けを予定している。本日ご審議いただいた議事3の図書館ビジョン(案)について、今日も色々な観点からご意見をいただいたが、こちらの資料を改めてお持ち帰りいただき、皆様の団体等のご意見もしっかり聞いていきたい。こちらの図書館ビジョン(案)についてご意見あれば、12月末までにお電話、メール等でいただきたい。意見を反映させ、年明け第2回の協議会の方に改めて提出したい。</p>

	<p>図書館ビジョンについては2月に教育委員会で報告する予定である。</p> <p>以上で令和3年度第1回図書館運営協議会を閉会とする。</p> <p>議事終了</p> <p>閉会 午後3時53分</p>
--	--